

## 病院事業経営計画の進捗状況の報告について

### 1 本報告について

第二次経営計画(平成26年度～令和5年度。うち「後期計画」は令和元年度からの5年間)では、計画の進捗状況について、毎年点検・評価を行うこととしています。そこで毎年度、決算に合わせて実績と計画数値を比較する方法により進捗状況の確認・評価を行っています。

### 2 令和5年度の患者数等の概況

#### (1) 患者数

延べ患者数の推移は、新型コロナ感染症が拡大した令和2年度に「受診控え」とされる顕著な減少(対前年度:入院△10.6%、外来△7.1%)があり、翌令和3年度は増加、令和4年度は再び減少、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられた令和5年度は、経営計画の令和5年度計画値との比較では、入院は0.9%増加、外来は△5.1%で2年続けて減少という結果となりました。全体として回復基調にはあるものの、依然としてコロナ前の水準には戻っていません。こうした傾向は近隣の公立病院においても同様であり、引き続き注視していきます。

#### (2) 手術件数、救急対応等

手術件数は1,063件で前年度より35件、3.2%減少しました。うち全身麻酔手術は392件で40件、9.3%減少、悪性腫瘍手術は200件で14件、7.5%増加しました。外来化学療法は1,491件で、189件、11.3%減少しています。

救急外来患者数は5,431人で前年度より312人、6.1%増加、救急車による搬送受け入れ件数は2,327件で291件、14.3%増加し2年連続で2,000件を超えました。

### 3 経営実績と計画値との比較

#### (1) 収益・費用

令和5年度計画値に対し患者数は下回りましたが、医療の高度化や、特に外来は高額薬品を用いた治療の増加などにより診療単価は高い数値を維持し、患者1

人1日当たりの診療単価は計画値を上回りました(入院+7.5%、外来+30.2%)。そのため医業収益は、計画値に対して8,700万円、1.4%増加の64億7,900万円となりました。

医業収益と医業外収益を合計した総収益は73億9,200万円で、医業収益が改善したことや、計画策定時点で見込まれていなかった新型コロナウイルス感染症関連の補助金が3億3,600万円収入した影響などにより、計画値より4億2,400万円、6.1%増加しました。

費用は、材料費(薬品及び診療材料等)が数年前から計画値より高い水準で推移しており、令和5年度についても計画値より3億7,000万円多く、総費用は70億5,200万円で、計画値より3億600万円、4.5%増加しました。診療材料の購入方法については、令和4年度より共同購入事業(全国337病院が加盟)に参画し、使用品の標準化やコスト削減を目指すこととし、今年度は約1,417万円(対前年度:+3.1%)削減することができました。事業を継続しさらに効率化を図っていきます。

## (2) 収支

医業収支は計画値より3億900万円悪化し5億4,800万円の赤字となりましたが、純損益は計画値より1億1,800万円改善し3億2,000万円の黒字となりました。

また、内部留保資金残高(貸借対照表の流動資産から流動負債を差し引いた金額)は47億5,700万円で、計画値の36億5,300万円と比較して11億400万円良好な結果となりました。

## 4 新病院建設事業の進捗状況

第二次経営計画(平成26年2月策定)では、前期(平成26年度から平成30年度)において「病院機能と経営健全化の強化」を行い、後期(平成31年度～令和5年度)は「新病院建設に向けた取り組みとさらなる経営強化」を進めることとしています。この方針に基づき、令和2年8月に新病院建設基本構想を策定し、令和4年8月には建設候補地の決定と当面日程を公表し、令和5年2月に基本計画の策定に至りました。

基本計画では、将来にわたり上伊那医療圏における中核病院としての役割を果たすため、現在の診療科やセンター機能を維持・強化するとともに将来患者数予測を踏まえて病床数を199床とし、全ての入院病室を個室で整備する方針などを盛り込んでいます。また、基本計画段階における概算総事業費を166億9,000万円とし、次年度以降の設計段階において精査することとしました。

令和5年度は、10月に基本設計業務委託契約を締結しました。令和6年度中の実施設計着手に向けて基本設計を進めていきます。

## 5 評価・課題のまとめ

第二次経営計画は、令和5年度をもって最終年度となりました。第二次経営計画後期計画を策定した平成30年度において新型コロナは予測にないため、経営計画と実績との比較において、新型コロナ感染症に起因した患者動向や補助金収入など予測外の差が生じ、その乖離がこの4年間で累積しています。

そのうえで、令和5年度の実績と計画との比較では、患者数が計画より少ないことにより病床稼働に関連する指標の多くは計画値に達しておらず、一方で医療の高度化の進展により、収益・費用は計画値を上回り、純損益ベースでは計画値を大幅に上回る結果となりました。

医療機能の強化では、新型コロナ感染症の5類移行後の感染症への対応を踏まえ、10月から2つの病棟を統合する組織改正を行い、感染症患者の療養環境の確保や看護師の効率的な配置を図ることとしました。

また、令和6年2月に地域における診療所等との連携の強化や役割分担の明確化を図る国の方針のもと、当院は紹介患者を重点的に受け入れる「紹介受診重点医療機関」に指定されました。

今後は限られた医療資源を効率的に医療につなげるため、地域の各医療機関の役割を明確化し、連携を強化し、地域全体で医療を提供していく必要があります。そこで役割・機能に対応した医師の安定確保が必要不可欠なため、引き続き最重要課題として取り組んでいきます。また、新病院建設事業の着実な推進と、新病院開院後における安定した医療提供体制の構築を目指し、医業収支・純損益のさらなる改善に取り組んでいきます。

経営計画の進捗状況(令和5年度決算)

(単位 百万円、%)

【収益的収支】		決算			計画	比較	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 A	計画上の 5年度 B	増減額 A-B	増減率 A/B
1	病院事業収益 ①	7,595	7,878	7,392	6,968	424	6.1
2	医業収益 ②	6,509	6,651	6,479	6,392	87	1.4
3	入院	3,698	3,795	3,721	3,865	△ 144	△ 3.7
4	外来	2,179	2,223	2,097	1,846	251	13.6
5	その他	632	633	661	681	△ 20	△ 2.9
6	医療相談収益等	457	458	485	505	△ 20	△ 4.0
7	他会計繰入金 ③	175	175	176	176	0	0.0
8	医業外収益 ④	1,086	1,227	913	576	337	58.5
9	他会計繰入金 ⑤	356	355	356	365	△ 9	△ 2.5
10	国県補助金	488	640	338	5	333	6,660.0
11	長期前受金戻入	220	211	196	186	10	5.4
12	その他	22	21	23	20	3	15.0
13	特別利益	0	0	0	0	0	—
14	病院事業費用 ⑥	7,182	7,158	7,052	6,746	306	4.5
15	医業費用 ⑦	7,153	7,123	7,027	6,701	326	4.9
16	給与費	3,666	3,565	3,499	3,716	△ 217	△ 5.8
17	材料費	1,966	1,985	1,880	1,510	370	24.5
18	薬品費	1,247	1,268	1,247	914	333	36.4
19	その他	719	717	633	596	37	6.2
20	経費	1,110	1,181	1,278	1,110	168	15.1
21	減価償却費	397	375	350	344	6	1.7
22	その他	14	17	20	21	△ 1	△ 4.8
23	医業外費用 ⑧	29	35	25	45	△ 20	△ 44.4
24	特別損失	0	0	0	0	0	—
25	医業収支 ②-⑦	△ 644	△ 472	△ 548	△ 309	△ 239	△ 77.3
26	経常収支 ②④-⑦⑧	413	720	340	222	118	53.2
27	純損益 ①-⑥	413	720	340	222	118	53.2
【資本的収支】							
28	資本的収入 ⑨	281	334	315	229	86	37.6
29	企業債	52	139	156	60	96	160.0
30	他会計繰入金 ⑩	198	188	158	169	△ 11	△ 6.5
31	国県補助金	29	0	0	0	0	—
32	その他	2	7	1	0	1	—
33	資本的支出 ⑪	488	515	484	431	53	12.3
34	建設改良費	92	152	164	70	94	134.3
35	企業債償還金	388	356	317	327	△ 10	△ 3.1
36	その他	8	7	3	34	△ 31	△ 91.2
37	資本的収支 ⑨-⑪	△ 207	△ 181	△ 169	△ 202	33	△ 16.3
38	内部留保資金	3,713	4,524	3,418	3,653	△ 235	△ 6.4
39	他会計繰入金 ③⑤⑩	729	718	690	710	△ 20	△ 2.8
40	収益的収支分 ③⑤	531	530	532	541	△ 9	△ 1.7
41	資本的収支分 ⑩	198	188	158	169	△ 11	△ 6.5

注 1 「計画上の5年度」は、第二次経営計画後期計画(R1~R5、H30策定)における令和5年度の計画値

2 「内部留保資金残高」は、貸借対照表の流動資産合計から流動負債合計を差し引いた額

経営計画の進捗状況(指標等)

区分			実績			計画	比較			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度 A	計画上の5年度 B	増減 A-B	増減率 (%) A/B		
		単位								
1	のべ患者数	入院患者数	人	65,793	65,015	65,621	72,102	△ 6,481	△ 9.0	
2		外来患者数	人	111,704	110,749	105,096	122,229	△ 17,133	△ 14.0	
3		健診者数	人	11,325	11,281	11,542	12,150	△ 608	△ 5.0	
4	1日平均患者数	入院患者数	人	180.3	178.1	179.3	197.0	△ 17.7	△ 9.0	
5		うち救急センター	人	8.7	8.3	7.5	8.7	△ 1.2	△ 13.8	
6		うち一般病棟	人	120.2	115.8	125.1	130.3	△ 5.2	△ 4.0	
7		うち回復期リハ病棟	人	26.2	29.4	30.2	30.0	0.2	0.7	
8		うち地域包括ケア病棟	人	25.5	24.6	24.0	28.0	△ 4.0	△ 14.3	
9		外来患者数	人	461.6	455.8	432.5	503.0	△ 70.5	△ 14.0	
10		健診者数	人	46.8	46.4	47.5	50.0	△ 2.5	△ 5.0	
11	病床稼働率	全体(運用239床)	%	75.4	74.5	75.0	82.4	△ 7.4		
12		うち救急センター(12床)	%	72.8	69.4	62.7	72.5	△ 9.8		
13		うち一般病棟(160床)	%	75.1	72.3	72.7	81.4	△ 8.7		
14		うち回復期病棟(35床)	%	74.8	84.1	86.2	85.7	0.5		
15		うち包括ケア病棟(32床)	%	79.8	76.9	75.1	87.5	△ 12.4		
16	患者1人1日当収益	入院収益単価	円	56,202	58,362	56,707	53,610	3,097	5.8	
17		外来収益単価	円	19,505	20,074	19,950	15,100	4,850	32.1	
18		健診収益単価	円	30,708	31,128	31,276	29,720	1,556	5.2	
19	財務状態	医業収支比率	%	91.0	93.4	92.2	95.4	△ 3.2		
20		経常収支比率	%	105.8	110.1	104.8	103.3	1.5		
21		内部留保資金残高	百万円	3,713	4,524	3,418	3,653	△ 235		△ 6.4
22		繰入金(基準内)	百万円	729	718	690	700	△ 10		△ 1.4
23		繰入金(基準外)	百万円	0	0	0	0	0		-
24	医業収益に対する率	給与費	%	56.3	53.6	54.0	58.3	△ 4.3		
25		材料費	%	30.2	29.9	29.0	23.6	5.4		
26		薬品費	%	19.2	19.1	19.3	14.3	5.0		
27		経費	%	17.1	17.8	19.7	17.4	2.3		
28		減価償却費	%	6.1	5.6	5.4	5.7	△ 0.3		
29		医師数(3月31日現在)	人	34	33	28	30	△ 2		
30	新規患者	外来患者数	人	15,973	16,170	16,294				
31		入院患者数	人	3,692	3,521	3,483				
32	紹介率	紹介率	%	50.4	47.6	43.4				
33		逆紹介率	%	53.1	53.4	49.1				
34	手術等件数	手術件数	件	1,076	1,098	1,063				
35		うち全身麻酔手術	件	352	432	392				
36		うち悪性腫瘍手術	件	155	186	200				
37		外来化学療法件数	件	1,673	1,680	1,491				
38	退院患者の入院経路別	退院患者数	人	3,654	3,540	3,493				
39		うち外来	人	1,647	1,725	1,767				
40		うち救急車	人	654	706	754				
41		うち救急紹介	人	247	157	266				
42		うち紹介	人	1,106	952	706				
43		一般病棟平均在院日数	日	13.4	13.3	13.6				
44		救急外来患者数	人	4,773	5,119	5,431				
45		救急車搬送件数	件	1,879	2,036	2,327				
46		ヘリポート利用件数	件	7	7	6				
47		消化器病センター検査・治療件数	件	17,851	18,318	18,805				
48	透析患者数	外来(1月平均)	人	42	38	35				
49		入院(1月平均)	人	9	9	7				
50		出前講座実施件数	件	5	9	8				